

▼オスタパロ 皮下注カートリッジ [注]

【重要度】 【一般製剤名】 アバロパラチド酢酸塩 Abaloparatide Acetate 【分類】 骨粗鬆症治療剤 [PTH 関連ポリペプチド]

【単位】 ▼1.5mg/0.75mL

【常用量】 1日1回80 μ g [最長(トータル)18か月間]

【用法】 腹部に皮下注 [毎回注射部位を変える]

■投与直後反応(主に血圧低下に由来)があるため、30分は安静にする

【透析患者への投与方法】 PK試験未実施(1)

【保存期 CKD患者への投与方法】 半減期が延長しAUCが増大するが、蓄積性がないため用量調節不要(1) Ccr30未満で消失の遅延確認(1)

【特徴】 骨折の危険性の高い骨粗鬆症に適用される34個のアミノ酸残基からなるヒト副甲状腺ホルモン関連タンパク質(hPTHrP)類似体、hPTHrPのアミノ酸配列のN末端1~34番目に相当。低骨密度、既存骨折、加齢、大腿骨頸部骨折の家族歴等の骨折の危険因子を有する例が対象。

【主な副作用・毒性】 アナフィラキシー、悪心、動悸、頻脈、浮動性めまい、高Ca尿症など

【安全性に関する情報】 血清Ca濃度上昇は投与後4時間で最大(1) 一過性に血清カルシウム及び尿中カルシウムを変動させるため尿路結石例には注意(1)

【F】 70% [sc] (1)

【tmax】

【代謝】 ペプチド分解(1)

【排泄】 分解物は尿中に回収(1)

【t1/2】 1~1.6hr (1)

【蛋白結合率】 70~74% (1)

【Vd】

【MW】 3960.59 (遊離塩基)

【透析性】

【O/W係数】

【肝障害患者への投与方法】

【小児CKD患者における報告】

【妊婦・授乳婦への投薬】

【主な臨床報告】

18か月間投与による骨梁スコアの増加が椎体骨折抑制に関連しているかもしれない (Cosman F et al: J Bone Miner Res 2023 PMID: 36588166)

【備考】 使用開始後も2~8℃に凍結を避けて保存。使用開始後14日以内に使用(1)

【更新日】 20240120

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。